

質問区分	Q	A
提出時	Q1 提出時に印鑑は必要ですか？	A1 必須ではありません。しかし、万一記載事項に修正すべき箇所が見つかった場合に必要のため、持参（シャチハタ不可）を推奨します。
提出書類	Q2 提出書類の押印箇所ですが、印鑑でなくサインでよいですか？	A2 外国籍の方で印鑑をお持ちでない場合はやむを得ないですが、通常の日本国籍の方は押印してください。
提出書類	Q3 1セットが分厚く、冊数も多いのですが、どう提出したらよいのでしょうか？	A3 学域から特段の指定が無ければ、「フラットファイル」等で束ねて提出することを推奨します。何セットも提出するので、セットの中身がバラバラにならないようにしてあれば、問題ありません。 ☆ワンポイント：ホチキス留めはしないでください。分厚くなり針が通りにくい上、提出直前に不備が見つかった際にも差替がしづらいようです。
提出書類	Q4 1セットの中でとじる順番はありますか？	A4 掲示した順番でとじてください。 【修士申請の方】 ① 別紙様式1 主論文表紙 ② 論文 ③ 別紙様式2 学位申請書 ④ 別紙様式3 学位論文要旨 ⑤ 別紙様式4 許諾書（共著の方のみ） ⑥ 副論文（参考論文：提出希望の方のみ） ⑦ 研究倫理審査判定通知著（写）（該当者のみ） ⑧ 別紙様式5 修士論文の複製許諾に関する申出書 ※ ③と⑧は1セット分のみで可。なお副論文がある場合は、当該分の⑧も提出ください。 【博士申請の方】 ① 別紙様式1 主論文表紙 ② 論文 ③ 別紙様式2 学位申請書 ④ 別紙様式3 学位論文要旨 ⑤ 別紙様式4 許諾書（共著の方のみ） ⑥ 別紙様式5 研究業績一覧 ⑦ 別紙様式6 履歴書 ⑧ 研究倫理審査判定通知著（写）（該当者のみ） ⑨ 副論文（参考論文：提出希望の方のみ） ⑩ 論文提出の前提条件として提出が指定されている論文または掲載決定通知 ⑪ 別紙様式7 博士論文のインターネット公表（大学リポジトリ掲載）に関する申出書 ※ ③と⑪は1セット分のみで可。なお副論文がある場合は、当該分の⑪も提出ください。 ※ 論文博士申請の方は、住民票記載事項証明書（本籍記載のあるもの）も1セット分のみ添付すること。
提出書類 *別記様式4	Q5 「別紙様式4 許諾書」ですが、共著者が各地にいるため、複数枚に分けて提出してよいですか？	A5 構いません。
提出書類	Q6	A6

*別記様式 7	「別紙様式 7 博士論文のインターネット公表（大学リポジトリ掲載）に関する申出書」に記載する、学位授与の予定日はいつですか？	以下の記載でお願いいたします。 9 月修了者：9 月 30 日 3 月修了者：3 月 25 日
提出書類 *別記様式 7	<b>Q7</b> 多くの場合、論文の著作権は掲載雑誌社にあります。「別紙様式 7 博士論文のインターネット公表（大学リポジトリ掲載）に関する申出書」で、自分としては「全文の公表」でも構わないのですが、その場合の雑誌社への著作権の確認は、大学が行ってくれるのでしょうか？	<b>A7</b> 通常の論文の場合は大学が行うのですが、平成 25 年 12 月から学位論文（含、副論文）についてのみ対応が異なることになりました。学位論文（含、副論文）だけは、雑誌社への著作権確認は、ご自身でお願いいたします。なお、著作権保護のため、「全文の公表」は雑誌社側が断る場合もあるようです。その際は、「要約の公表希望」とし、「要約」を学域別教授会に別途提出（その後、最終版のデータを CD-ROM で事務へも提出）してください。 ☆ワンポイント：博士論文は原則全文公開なのですが、諸事情で公表できない場合には要約で代える、というものです。「本文」の公開制限範囲を考慮しつつも、「要旨」との違いを意識し、適切な「要約」をご準備ください。 要旨…誰がどのようなものを書いたか等、ポイントをまとめたもの。 要約…論文全体を網羅的に圧縮したもの。
提出書類 *別記様式 7	<b>Q8</b> 学域で、主論文の他に「論文提出の前提条件として学術論文が〇編以上あること」が指定されています。こちらの学術論文についても、「別紙様式 7 博士論文のインターネット公表（大学リポジトリ掲載）に関する申出書」は必要でしょうか？	<b>A8</b> あくまで「前提条件」でしかない論文で、学位審査に関与するものではないため、当該分は不要です。「副論文」として提出が指定されている学域のみ（現時点の本研究科においては理学療法科学域・作業療法科学域の博士論文申請者）、副論文分も「別紙様式 7」を提出してください。
提出書類	<b>Q9</b> 論文博士申請を予定しているのですが、海外在住の為、住民票が日本にありません。他の書類で対応はしてもらえますか？	<b>A9</b> 海外在住の方の場合は、代替書類として、在留証明書（本籍記載のあるもの）の提出をお願いいたします。
提出書類	<b>Q10</b> 参考英訳が HP にあるのですが、そちらを使用してもよいですか？（例：外国人研究者が共著者の場合の「別紙様式 4 許諾書」の参考英訳使用等。）	<b>A10</b> 提出様式は定められたもののみをご利用ください。参考英訳はあくまで記載内容の説明用とご理解ください。
提出方法	<b>Q11</b> 郵送や代理人（委任状あり）で論文提出はできますか？	<b>A11</b> 受付できるのは、「指定日時（厳守）に本人が持参提出した論文のみ」です。予めご了承ください。
論文内容	<b>Q12</b> まだ受理されていない論文ですが、提出できますか？	<b>A12</b> 受付時に受理確認まではしないため提出自体は可能です。ただし、論文審査会時点では受理が必須であるようです。影響がないかどうかについては、学域及び指導教員によく相談してください。
論文申請料	<b>Q13</b>	<b>A13</b>

【Q&A】論文申請にかかる手続きの詳細について

(平成 26 年 12 月 22 日版)

	論文申請料を支払う必要がありますか？	在学中の方（＝修士申請者・課程博士申請者）は、不要です。また論文博士申請者でも、本学の博士後期課程に1年以上在学し所定の単位を修得した者で、退学後1年以内に学位の申請をする方は、免除します。それ以外の論文博士申請者の方は、論文提出時にお渡しする指定の振込用紙にて、指定の期日までに57,000円を納めてください。
論文申請料	Q14 海外在住で、論文博士申請予定しています。申請料は、海外の銀行から送金してもよいですか？	A14 本学指定の振込用紙がありますので、必ずそちらをご利用いただき、日本の銀行からお振込ください。